

新会員情報管理システムMAMIS 九州ブロック説明資料

2024年6月7日 於 長崎県医師会 会議室

公益社団法人日本医師会 情報システム課会員情報室

Ver1.00

1-1 新会員情報管理システムについて



- ●新会員情報管理システム名 MAMIS (マミス):
 - **☆ Medical Association Member Information System**
- ▶ 全国の医師会の会員管理を担うシステムとして誕生し ます(2024年10月末予定)
- ➤ MAMISでは全国の医師会をシステム内に登録し、**三** 層構造(四層構造)の流れに則った、入会・異動・退 会手続きが行えます
 - ※途中入会(日医だけ入会等)は出来ません 従来の紙の流れと同様の手続きフローです

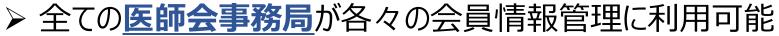


1-1 新会員情報管理システムについて



● MAMIS利用対象

- ▶ 全ての医師会に所属する会員が対象
 - ① 日本医師会まで入会の会員
 - ② 都道府県医師会まで入会の会員
 - ③ 郡市区等医師会まで入会の会員
 - ④ 地区医師会のみ入会の会員(四層構造の場合)
- ▶ 非会員の医師(いずれの医師会にも未入会)
 - ① 研修会に参加する非会員の医師



- ① 日本医師会事務局
- ② 都道府県医師会事務局
- ③ 郡市区等医師会事務局
- ④ 地区医師会事務局(四層構造の場合)

全ての医師会の会員 が利用対象



提供する機能は同じです

1-2 MAMISの手続き支援機能:その1



- 医師会ごとの独自ルールの設定機能を準備
 - > 各医師会の業務ルールを設定可能
 - ①「入会時は日本医師会まで入会」等の入会時の選択肢を制御
 - ② 複数医師会入会不可の場合の警告表示 等
 - ③ 会員区分、会費減免条件の設定 環境設定

会員区分設定の新規登録

入力してください 会員区分名称 入力してください (全角・半角255文字以内) 使用する 年齢区分 エラーメッセージエラーメッセージ 使用する 卒後年数による (半角数字) 年以上 使用する 歳以上 高齢減免 (半角数字) (半角数字) 医療機関の開設者であること 役割による条件 医療機関の管理者であること 研修医であること 入会時に面接あり 他の区分から本区分へ変更した際、退会・再入会とする 自医師会の該当医療機関に開設者、管理者がいない場合は入会させ 会員数に含まない

医師会固有の会員区分

医師会固有の規定設定

OFF ON 理事会承認の有無 理事会承認日を入会年月日、異動年月日(異動退会・退会を除く) ■ 医師免許証(選択した場合は必須項目となります) 提出書類のアップロ 履歴書・経歴書 (選択した場合は必須項目となります) ードの有無 その他 複数医師会入会時の 複数医師会入会時の警告表示を行う 警告表示の有無 日本医師会まで入会が必要 都道府県医師会まで入会が必要 規定の入会条件の有 都市区医師会まで入会が必要 地区医師会まで入会が必要 自医師会の入会条件 必須 自医師会も退会させる ○ 自医師会は退会させない となる医師会間の 異動時の処理 自医師会の通算加入 年数の表示

1-2 MAMISの手続き支援機能:その2



- 会員の個人情報の同意はどのように取得するのか?
 - ▶ 各会員が、初回ログイン時に個人情報の取扱いに関する同意 を取得する機能を設けます



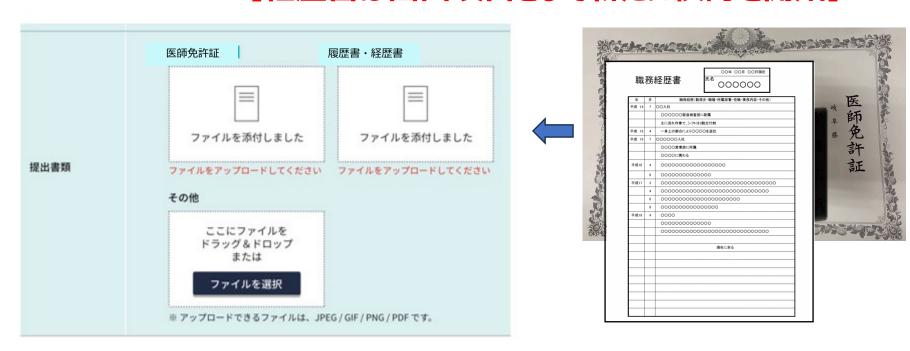


1-2 MAMISの手続き支援機能: その3



- 複写式届出用紙を廃止。各医師会間の手続きを原則オンライン化
- 入会手続きの必要書類を電子ファイルで提出
 - 入会・異動届の画面にファイル添付機能があり、医師免許証・履歴書・経歴書等を、 各医師会の設定によりアップロード可能
 - ▶ 本人同意の下、適切な権限管理により各医師会事務局は書類管理可能

【経歴書は画面項目として新たに検討を開始】



2-1 MAMIS会員画面イメージ:ログイン後



• マイページ:所属医師会表示画面

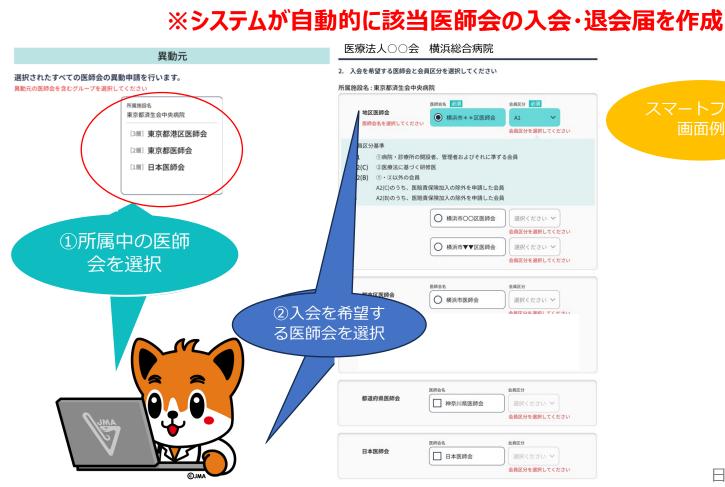


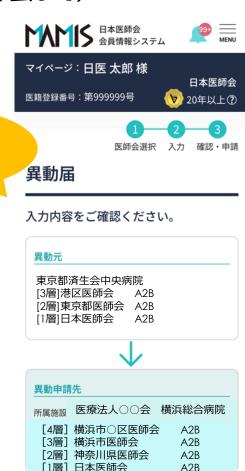


2-2 MAMIS会員画面イメージ: 異動手続き



- 異動手続きの簡略化
 - ▶ 医師会や勤務先の移動時の手続きが簡素化されます
 - マイページから所属中の医師会を選択
 - ② 入会を希望する医師会を選択(地区医師会~日本医師会まで)
 - ③ 各医師会の会員区分を選択し、申請





画面例

2-3 MAMIS事務局画面イメージ:事務局ログイントップ



- 医師会事務局への機能
 - ▶ 提出された申請件数を可視化
 - ① 提出された申請件数を表示
 - > 所属会員情報を速やかに確認
 - ① 会員区分ごとに会員数を表示
 - ② 詳細検索・内訳表示



> 会員台帳や統計情報への活用も可能

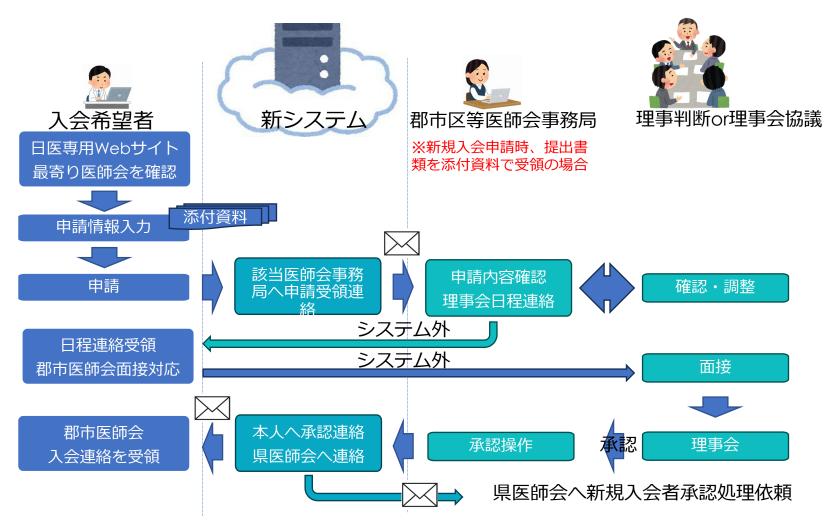
- ① ダウンロードしたデータを用いて会員台帳・宛名ラベルの作成等が可能
- ② 卒業年度別の集計等も可能

会員区分別会員統計表(令和6年03月)								
						令和6年03月31日	日現在	
	総数	A 1 会員	A 2 (B)会員	A 2 (C)会員	B会員	小 計	C会員	
全国	175,633	82,128	41,868	3,998	43,493	171,487	4,145	
(男)	142,751	72,414	30,958	2,555	34,023	139,950	2,800	
(女)	32,882	9,714	10,910	1,443	9,470	31,537	1,345	

3-1 MAMISの情報の流れ: その1



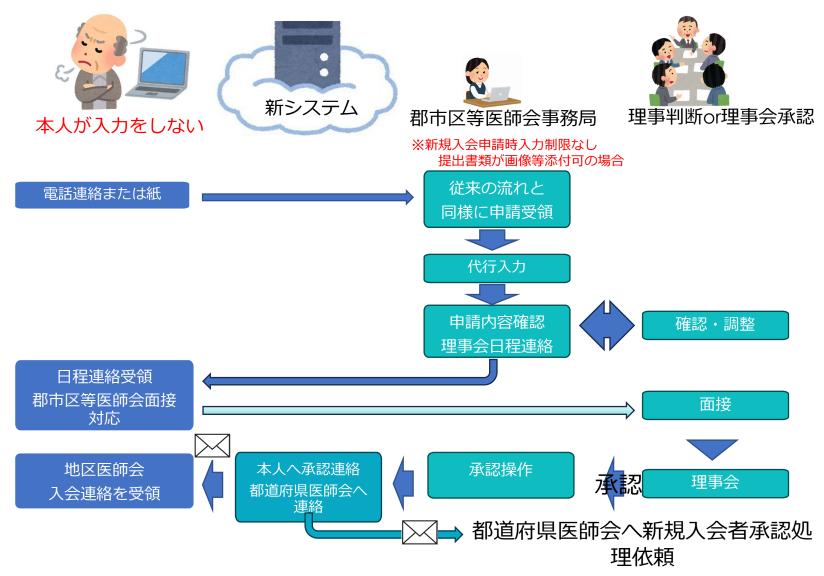
・ 郡市区等医師会の開業医新規入会時の流れイメージ



3-2 MAMISの情報の流れ: その2



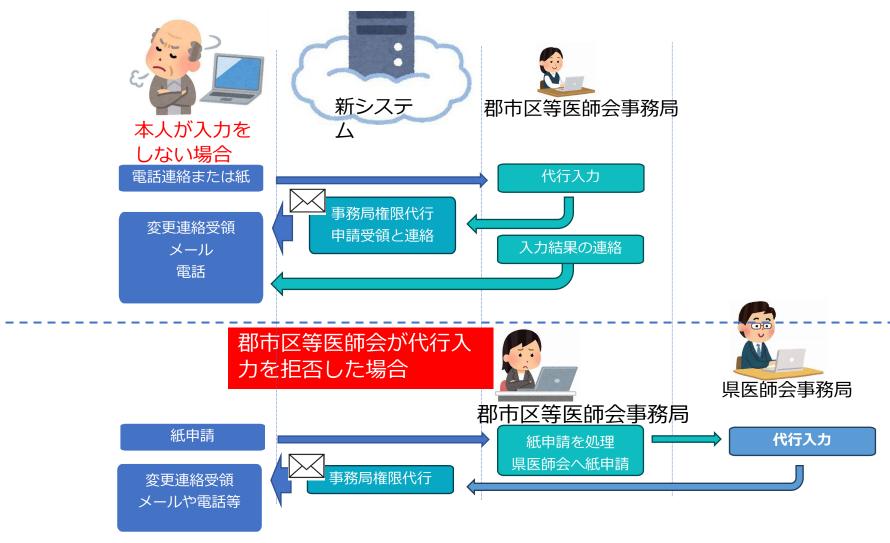
・ 医師が入力をしない場合(新規入会の場合)



3-3 MAMISの情報の流れ: その3



・ 医師が入力をしない場合(既存会員の情報変更の場合)



補足: MAMIS利用不可の場合の対応/システム連携予定



- 前提:複写式用紙を廃止します。経過期間後は、MAMISからの申請に一本化します
- ●地区医師会、郡市区等医師会がご利用されない場合→都道府県医師会に申請データの入力代行をお願いします
- 都道府県医師会自体もご利用されない場合→日本医師会がデータ化をすることを予定 しています
- MAMISからのデータの連携(各医師会内のデータ管理)
 - 従来の業務:複写式用紙等を参照し、自医師会のシステム等へ入力していた作業
 - ⇒MAMISから取得したデータを、自医師会の仕組みへ反映いただく想定
 - ・検索画面からのダウンロードやデータ連携を想定
 - ⇒データ連携時のレイアウトは原則、移行フォーマットと同じ項目です
 - ※項目の説明はデータ移行説明にて行います

4. まとめ: 複写式の用紙とMAMISの違い



• 全医師を対象にマイページを用いて個人情報の管理ができます

従来の管理方法や手続き	MAMIS
個人情報は医師会が個別に管理	本人が維持管理する個人情報を、入会中の 医師会間で共通して把握 ・個人情報の修正がされた場合、該当する 医師会に通知が行われます
個人に紐づく情報の変更は全て異動届を記載し送付	個人に紐づく情報の内、軽微な修正は、本 人または最寄りの医師会が実施可能です ・今後の異動手続きとは 「医師会の異動」 「勤務先の変更」 「会員区分の変更」となります
医師会を異動してこられら会員の情報は、前医師会へお問合せをする必要があった	日本医師会の情報を含め、所属会員の情報 を最大限可視化 ・前所属情報 ・年金、医賠責特約保険 ・認定産業医、認定スポーツの期間確認
届出用紙には押印が必要	システム上の記録により押印が不要

5. 各医師会の会員番号とMAMISログイン I Dについて



- MAMISに、、各医師会(加入中の医師会)が発行する独自の会員番号(ID)の登録が可能です
 - ① 日本医師会の既存会員は日医会員 I D (0 or 1 から始まる番号)を移行
 - ② MAMIS上で新たに日本医師会へ入会した会員は、日医会員ID(3から始まる番号)を附番予定
 - ③ 都道府県医師会、郡市区等医師会も、データ移行または手入力により、独自の会員IDの付与が可能(使用する/しないは各医師会のご判断です)
- MAMISログイン I Dの通知
 - ① 日本医師会会員へは2024年9月の情報をもとに郵便にて通知します
 - ② 日本医師会未入会の各医師会会員には、移行データをもとに郵便にて通知します



医師会会員情報管理システム